緊急地震速報が鳴り、園庭で遊んでいた以上児は音声や音に反応して、すぐに園庭の真ん中に避難をしました。
未満児は、職員が園児を避難車に乗せて、スムーズに避難をしました。









消防士さんからは、８日に発生した地震についての話があり、自分の命を守ることの大切さや、日頃の訓練の大切さについてのお話がありました。



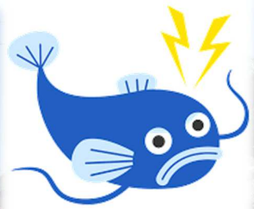
年長　そら組

揺れが始まると机の下に入り、脚に必死にしがみついていました。体験後「怖かった。」「自分で動けない。」と話していました。

年中　かぜ組

次第に左右の揺れが大きくなると、手だけでは体を支えられず、机の脚に両足を絡めて揺れに耐える子が多かったです。












１１月１１日（水）
避難訓練後、地震体験車で
地震の揺れを体験しました。











年少　つき組

担任が代表で体験しました。大人は、震度７を体験しました。とても立っていることはできず、姿勢を低くして両手で物に掴まっていても転がりそうでした。
その姿を見て、年少さんなりに、「地震は怖い」と感じた様子でした。

